



岡部株式会社

杭頭クラウド計算システム「PC×CS」を提供開始

～杭頭計算の業務効率化を支援する新サービス～

建設関連製品事業や海洋事業等を展開する岡部株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役 社長執行役員：河瀬博英 以下「当社」）は、8 月 17 日（月）に杭頭計算の業務効率化を支援する新たなオンラインサービスとして、「杭頭クラウド計算システム（愛称：PC×CS／ピーシー・シーエス）」の提供を開始いたしました。
注）事前に、当社 HP にて公開している専用の「検討シート」への記入が必要になります

「杭頭クラウド計算システム（以下、当サービス）」は、お客様ご自身が必要なタイミングで検討結果をご確認いただくことを可能とした、杭頭計算の検討書を提供する新たな設計補助サービスです。

これまで、杭頭計算の検討書を作成するためには、お客様から当社に E メール等で検討依頼を承り、当社担当者による計算および検討結果を回答するため、一定の時間を要しておりました。当サービスを利用することによって、今後はお客様ご自身が必要とするタイミングで即時的に検討結果をご確認いただくことができます。画面上の簡単な操作（ドラッグ＆ドロップ）のみで検討結果の確認が可能であるため、これまで計算および検討に要していた時間を大幅に短縮します。これにより、杭に係る設計業務全般の効率化と生産性向上に大きく貢献いたします。

【杭頭計算とは？】

建物などの構造物を支える「杭」の頭頂部（杭頭）に作用する外力（曲げモーメント・せん断力・軸力）を算出し、杭と基礎の接合部の挙動や納まり、杭頭接合鉄筋の仕様、杭頭の埋め込み長さを決定づけるための計算であり、安全・安心な杭頭接合部を実現するために非常に重要なもの。この計算は建設コンサルタント、地盤・基礎の専門工事各社、構造設計事務所等において土木・建築構造物の設計ならびに耐震解析のために行われている。杭頭接合製品を提供する当社では、製品をご愛顧いただくお客様に「杭の設計外力を十分満足する製品であること」を示した設計補助となる検討書を提供してきた。

さらに、当サービス※には、杭頭アンカーと基礎梁配筋との「干渉チェック機能」を搭載しており、これまで現場ならびに作業員の負担となっていた複雑な配置検討を、システム上で視覚的に確認できるようになりました。当サービスの提供により、杭頭接合の配置検討にかかる作業時間を従来の半分以上とし、お客様の設計業務の効率化に寄与してまいります。また今後、当サービスを他の杭頭製品ラインナップも展開し、杭頭接合・補強製品のトータルメーカーとして皆様より益々のご愛顧をいただけますよう、さらに努めてまいります。

※当システムでは CAD データのご提供はしておりません。

当社グループは、市場ニーズに応じた製品開発を推進するとともに、現場に求められているニーズを実現させるべく、安全性、省人化・省力化に資する技術の開発にこれからも邁進してまいります。

